シニアの挑戦!!

(2026年10月版)

国際協力の現場を語る

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持った人達を「JICA海外協力隊」として派遣しています。この人達は海外旅行などでの体験とは違った、海外協力隊ならではの様々な体験をしてきています。赴任国で体験した、生活、文化、人々との触れ合い、苦労、喜び、伝えたいメッセージなどを熱く語っていただきます。

◆日　時　：毎月第3水曜日 15時00分～16時45分
◆タイトル：シニアの挑戦 !!　国際協力の現場を語る
◆会　場　：JICA横浜　　Web会議(Zoom)併用
◆主　催　：NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会　◆協 力：JICA横浜
◆会　費：無 料(どなたでも自由に参加でき同時にZoomによるWeb会議も実施しますのでこちらへも参加できます)

会員以外の方でWeb会議への参加希望者は、
1. 氏名　2. メールアドレス 3.「体験発表会参加希望」を明記の上、以下へメールをお送りください。
メール宛先：info@jicasvob.com
Web会議に参加するための招待メールをお送りします。



赴任国(講演者)		「タイトル」　講演概要
第249回 10月21日 (水) アルゼンチン (田中　良平)		**「環境保全も産業振興も目指す」** アルゼンチンでは研究開発センターに配属されました。センター自体は全国組織ですが配属先は北部にある支所で、その地域ではサトウキビやレモンなど農産物生産が盛んです。支所ではこうした産業に関わるバイオマスを有効利用するための技術開発を進めており、それに対して助言や指導を行なうことがメインの活動でした。
第250回 11月18日 (水) エジプト (橋本　千鶴)		**「イスラームの国でみた幼児教育」** 活動先である任地ポートサイド県の100の保育園を管轄する社会連帯省。そこから保育園巡回という形での活動を行った。公立保育園の現状は厳しく、おもちゃが全くない園もある。イスラム教という日本には馴染みのない宗教の中で自分との価値観の違いも感じながら、私の試行錯誤の2年間の活動を報告させていただきます。
第251回 12月16日 (水) イギリスなど (成本　洋子)		**「異文化体験の衝撃からはじまる」** 1970年の大阪万博で、期間限定の民泊を提供したのが、私の初めての異文化体験でした。その時知ったこと、衝撃を受けたことが、その後の私の生き様に大きな影響をもたらしてくれました。2025年の日本で実施された2回の万博に参加しました。55年の時を経て、EXPO2025に参加した想いをお話しします。また、参加当日の様子と内容をお伝えします。
第252回 1月20日 (水) モンゴル (渡邊　寿子)		**「モンゴルにおける学校音楽教育」** 活動先の教育大学でピアノや合唱、そして音楽の授業の指導方法についてなど指導した。教員不足から、音楽の授業がない学校が多く、基礎的な音楽的知識を持っていない学生が多いことを目の当たりにした。音楽教員に必要とすることを学生に指導し、また、授業後の感想をまとめ大学で今後指導すべき事などを先生方に助言した。
第253回 2月17日 (水) パプア ニューギニア (渡辺　章)		**「パプアニューギニア800言語・部族の多様性」** パプアニューギニアでは約800の部族と800の言語が共存する、世界でも突出した多文化社会。地理的隔絶と強い共同体性が多様性を育み、国際協力では、言語・文化に合わせた丁寧な対話が不可欠でした。日本人の見たパプアニューギニアの文化についてお話しします。